

## イチゴ四季成り性品種「なつあかり」の秋どりを可能にする 夏植え定植前長日処理

### 研究のねらい

我が国のイチゴの価格は夏秋期に高く、とりわけ9～10月に上昇するため、良食味の四季成り性品種「なつあかり」などをその時期に収穫することが求められている。「なつあかり」は夏は花芽分化しにくい、長日条件が四季成り性イチゴの花芽分化を促進することが知られている。そこで、夏植え栽培における定植前長日処理の効果を明らかにする。

### 成果の内容

- ①前年および当年の5月末から7月上旬採苗の「なつあかり」定植前苗に、1か月間終夜電照して長日処理を行うと、秋の出蕾株率および年内収量が増加する(図1、写真1)。
- ②長日処理の明期時間については、24時間日長の処理効果が最も高い(図2)。

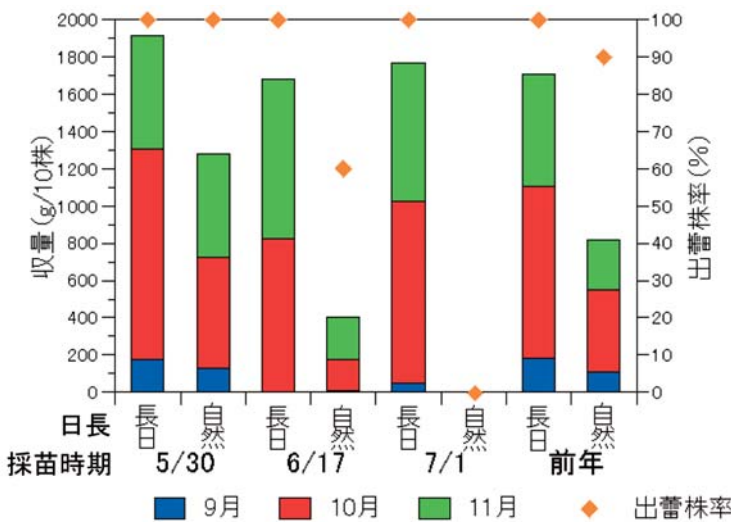


図1 採苗時期と定植前の日長が秋の出蕾株率と収量に及ぼす影響



写真1 7月1日採苗区の10月上旬の様子

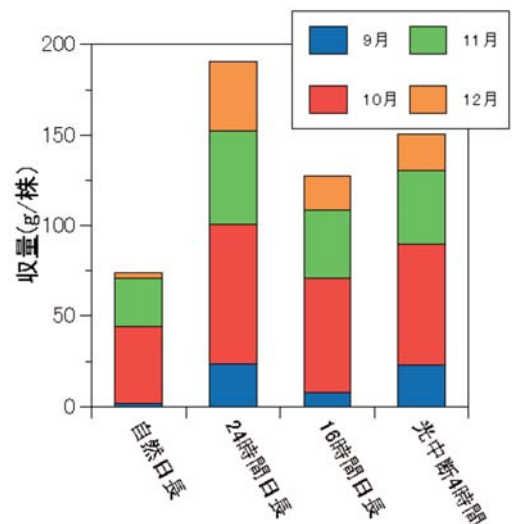
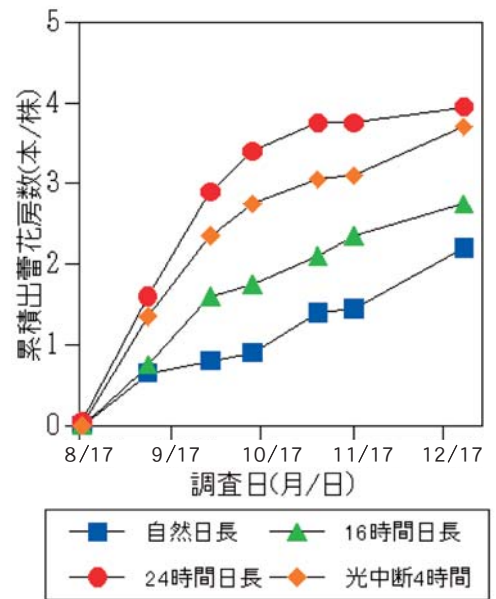


図2 定植前長日処理の明期時間が出蕾花房数と月別収量に及ぼす影響